

保育参加アンケートのご協力ありがとうございました。  
いただいたコメントを、抜粋してご紹介します。

## 年少組

作り物をしている様子を見ていた時に、はじめは「〇〇作っているんよ」と話していた子が「これ付けたら、△△になる」と、どんどん作ろうと思っていた物が、違う物に変わっていき、面白く、子どもたちは、とても柔軟で想像力が豊かだなと思いました。



一人目の子ということもあり、育児への心構えが不安定なことが多くあり、自分の子育てが、これで正解なのか？と考えたり、自分の言動で我が子が良い方向にも悪い方向にも変わってしまうのではないかと怖さを感じたりしていました。でも、今日のミーティングでの他の保護者のお話を聞いて、皆さんもいろいろなことに悩まれて育児していることを知り、もっと広い大きな心で我が子を支えてあげたいなと前向きな気持ちになりました。

今までは「大丈夫かな？」「心配だな」と思っていることが多かったのですが、保育参加してみて、我が子が案外、自立していて、のびのびと過ごしており、とても安心しました。親として心配しすぎていたのかもしれない。

お弁当の時間も、マイペースながら、すべて自分で食べていて、信じられない気持ちと嬉しい気持ちと、いろいろな感情で忙しかったです。家だと見られない姿は（友だちと遊ぶ姿や、一つのことに黙々と取り組む姿など）とても新鮮でした。



普段、幼稚園でどのように過ごしているのか気になっていたのですが、お弁当を食べ終わると、自分でお弁当袋に入れて片付けることができたり、トイレも一人ですることができていたりして、成長を感じることができて嬉しかったです。家だと、なかなかゆっくり二人で遊ぶことができていないので、今回、幼稚園で、短い時間でしたが、いっしょに遊ぶことができて、我が子がとても喜んでいたので、家でも、もっと遊ぶ時間を作って、いっしょに過ごせたらいいなと思いました。

今回の保育参加で、息子のお兄さんなところ、お調子者なところ、甘えん坊なところ、いろいろな顔を見ることができました。家でも、そうなのはなのに、客観的に見ることができ、息子なりに頑張っているのかもしれないと感じ、もっと息子を認めてあげないとな〜と反省しました。



帰りの集いの手遊びやお歌は、笑顔で体もしっかり動かして、一番楽しそうでした。園で教えてもらった手遊びは、ほとんどお家で披露してくれていて、私もたくさん手遊びを覚えました。

大好きな遊びや、まわりの人とのかかわりを通して、成長していく姿を、いっしょに共有できて嬉しく思いました。

子どもたちと近い距離でかかわって感じたことは、子どもたち一人ひとりが、みんなのことを、よく理解していて、認め合っていて感心しました。一人ひとりの好きなこと、苦手なことなど、いろいろあるけれど、それぞれの場面で、自分の得意なことは率先して行い、反対に苦手なことは、その子なりに頑張っている姿を見ることができました。

お弁当の時間、遊ぶとき、帰る前の集いも、笑顔いっぱい楽しんでそうな姿を見ることができ安心しました。



「見て見て〜」「いっしょにこれやろう」と子どもたちが次々と迫ってくる勢いがすごかったですが、こんなに求めてくれる時期は今しかないのかな〜と思うと、幸せな時間なんだなと、しみじみ感じました。友だちがやっていることに、同じように挑戦している子どもたちの姿に、幼稚園だからこそその空間でもあると感じました。日々、たくさんの刺激をあげて、大きく強く成長してほしいです。

※初めての保育参加。『お家の人かぼくのわたしの幼稚園に来てくれる』ということが子どもたちは、とてもうれしかったようです。子どもたちの園での遊びや友だちとかかわる様子を見て、成長に驚かれたことと思います。今後も保護者の方とともに、子どもたちの成長を見守っていきたいです。ご参加ありがとうございました。

## 年中組

保育参加について何も言わないので、「母さんもう行ってもいい？」と聞くと、「母さんは〇月〇日でしょ！まだよ。」と訂正され、『知ってたんだ！』と驚きました。当日の朝も、「みんなのお母さんはお弁当持ってきてないけど、母さんだけ持ってきてね！」「母さん、恥ずかしいじゃん…」「だって！ほく、一緒に食べたいんだもん！」と言ってくれ、嬉しい朝を迎えました。



走って走って、また走って…『足が速くなったなあ〜』と思いながら頑張りました。綱引きも、大人げなく本気になり、負けて悔しかったです。ポンポンもかっこよかったです。綱引きもポンポンも、子どもたちと一致団結して参加でき、すごく楽しかったです。友だちとのかかわりも、年少さんの時よりも密になってぶつかることもあると思いますが、それも成長だと思って、見守っていいと思いました。

最近知った『バナナ鬼』面白いルールですね。仲間との協力が必要だし、『バナナ』ってところがまたかわいい♡「かくれ氷もあるよ！」と、また新しい遊びを教してもらいました。こういった遊びは先輩から受け継がれるのだろうか？遊んでいる中で新しいルールができ、子どもたち自ら生み出しているのだろうか？無限に広がる子どもたちの遊びは、その想像力の豊かさに驚かされました。



お弁当の時間の前、「お弁当食べないの？」と聞かれ、「持ってきてないんだ〜。いっぱい運動したからおなか減ったねえ〜」と答えたところ、「じゃあ、お弁当少し分けてあげる。」「卵焼きあげる！」等、数人の子どもたちが行ってくれました。幼稚園で優しい心が育っているんだなあ、と感動しました。



安全に目の行き届く範囲で遊んでいた年少時代。年中になると、こんなにもダイナミックに変わるんですね！(中略)斜面で転んだ私に、手を差し伸べてくれたり、「ここは滑るから、手で持ってね！」「こっちはジャンプしても大丈夫よ」「ダンゴムシがたくさんいるところは…」自然の中で、すごくのびのびと成長していることを肌で感じることができました。そりゃ〜ズボンも破けるわ…(笑)たった2時間で疲れてしまいました。

息子は、私が園に遊びに行くことを、とっても楽しみにしてくれていて、「一緒に遊ぼうね！」と言ってくれていました。私も、息子が遊んでいるところに混ぜてもらえることや、日頃の様子が見られることをとても楽しみにしておりました。年少の時とは違い、みんな自分のことは自分でテキパキと済ませており、感心しました。(中略)外遊びで鬼ごっこをしているとき、私が走り疲れていると、「鬼、代わってあげる。」とさりげなく手を出してきてくれた子がおり、私の代わりに走ってくれました。『年中にして、子の思いやりはなかなかすごい！！』と心の中で叫んじゃいました(笑)

逆上がりが、補助台を使ってできるようになっていたこと、長縄があんなにたくさん跳べるようになっていたこと、びっくりしました！みんなで遊びながら、『私もできるようになりたい！』気持ちいっぱい練習したんだろうなあ〜と想像でき、嬉しくもあり、娘らしいなと笑っちゃいました！



4、5歳児として、自分たちで考えて虫を探したり、トラブルになった時もどうやって解決しようか考え、行動することができつつある姿を見たり、かかわったりできる保育参加は貴重な経験になりました。私たち保護者が、子育ての楽しさを見つける機会になると思います。園庭の環境が素晴らしいですね！こんな環境で毎日走ったり、登ったり、ザクザクや虫を見つけたりして、生き生きと楽しむ子どもたちが羨ましくなりました。



※年中組の保育参加。運動会直後から始まり、様々な活動に参加していただきましたね。運動会ごっこ、図書、外遊び、雨の室内遊び…。少しずつ友だち関係が広がってきて、保護者の方も、友だちの一員として、受け入れて遊んでいた子どもたち。お家で『何の遊びをするか』リクエストされていた方も多かったようです♡みなさん、筋肉痛、大丈夫でしたか？(笑)

我が子に限らず、抱っこやスキンシップがまだまだ大好きなのですね。我が子も含めてたくさん抱っこしてあげたいな、と思われました。

## 年長組



前日から、「約束したからやろうね」と誘われていた逃走中。我が子に「この人（ママ）のこと、お願い！よろしく。」お友だちにも「（〇〇くんの）お母さんのことよろしく」などと気遣ってもらい、優しい〜と感動しました。去年のケイドロは、ルールがバラバラで鬼が可哀想だったのに、年長さんなんだなあと感動しました。

去年とは違い、やはり年長さんと言うことで、走る速さは速くなっているな、と思ったことと、捕まらないための作戦や、捕まえるための作戦をよく考えて遊んでいるなと感じました。また、遊んでいる中で、他の子とぶつかった時に「大丈夫？」の声掛けや、先生への伝達を年長さんが率先してやっているのを見かけました。遊んでいる中で、考えること、できること、がどんどん増えていっているのだろうなと思いました。そして、自分たちが決めた遊びのルールそのものに有利・不利のアンバランスさに気づき、他の子に「どうしよう」「こうしよ」と発言していた子もいました。我々大人も見習わないといけないな、と感じさせられました。



怪我をしても、転んでも平気ですぐ立ち上がってまた走り出す姿がたくましかったです！！むしろこちらの方が、「冷やす？」「先生のところ行こう？」と気にしてしまいました。

たくさん遊んで帰ってきたパパは、「疲れた〜」と言ってだいぶ疲れたようでしたが、「子どもの頃に戻りたいな〜」と思ったようです(笑)



子どもたちの、パアッ！！としたピカピカのエネルギーを感じました。どんな遊びをしても、先生の声掛けで動き出す姿に感心しました。また、気づいてない友だちへの声掛け・・・年長さんの気づき、気遣いを見ることができました。そして、大人のようにあれこれ考えるのではなく『まず、やってみる！！』忘れていた大切なことをみせてもらいました。



今回は、娘の友だちと遊んでいる時間が多く、当の娘は、その様子を、遠くから見て笑っていました。今までお母さんを独り占めに！！という気持ちが強かったのに、友だちと遊ぶお母さんの姿なのか、幼稚園児の気持ちに戻って遊ぶお母さんなのか、わかりませんが、客観的に物事を見る心の余裕を感じました。親元を離れる時間がかなり多く、成長を感じつつも、少し切なくなりました。

外遊びが始まると、さっそく、「ブロッコリー（苔）とうろ！」木の棒を渡してくれて、収穫が始まりました。これは一体どんな遊びなんだろうと思ったら、とれたブロッコリーをお友だちの元へ届け、お友だちが料理。おうちごっこをして遊んでいました。緑色の綺麗なブロッコリーを見つけると、どうやったら綺麗にとれるか、私も夢中になり収穫しました。ヨモギの葉を野菜に見立て、ちぎってみるといい香りがしたり、葉っぱを集めると色や形に興味をもったり、たくさんの自然と触れて我が子と一緒に遊び楽しい時間でした。今日はこの遊びをしよう！と楽しみをもって登園していることが嬉しく思いました。



自由、多様性、尊重、夢中、平等など理想の社会を感じることができました。知らない大人に積極的に話しかけてくる姿勢は、予想以上であり、すぐに、仲間に入れたと感じることができました。

※年長組最後の保育参加、わが子の様子だけでなく、他の子やクラス全体のことまで気にかけて、成長を見つけてくださって、さすが年長組の保護者の方です。童心にかえっての時間。子どもからも、保護者の方からも、充実感いっぱいな空気が漂い、ほのぼのとあたたかい保育参加となりました。ありがとうございました。